

大洲市民文化会館

経過説明

大洲市

株式会社シアターワークショップ

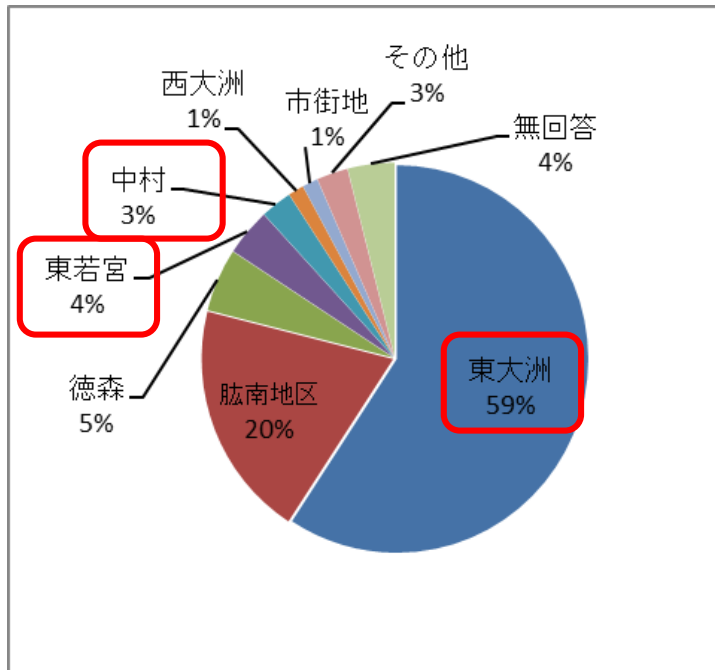
(1) これまでの経過について 【経過説明】

(1) これまでの経過説明（市民のニーズ等について）

今後の市民会館の方向性の検討をするため、新しい文化会館づくりのために必要な基礎データの収集・整理を行った。
市民意見は次のとおりである。

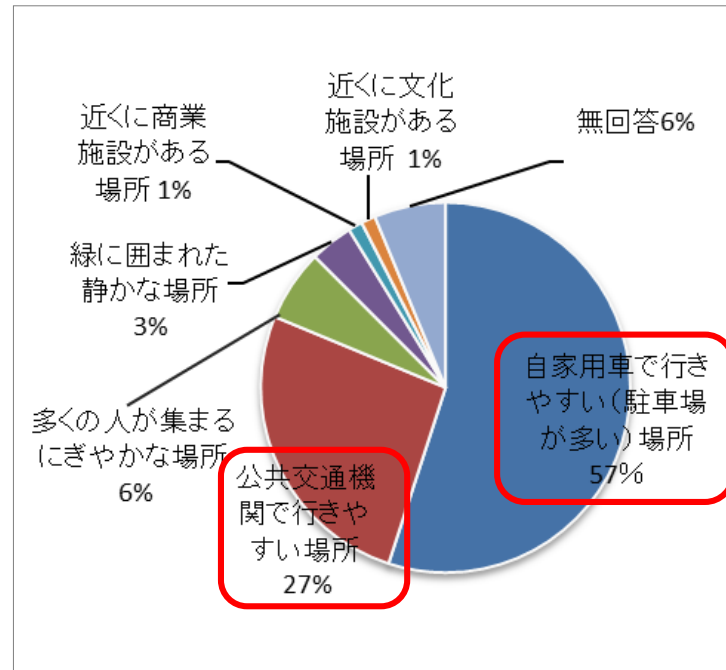
○建設場所（具体的地名）

全体の**66%**を**肱北地区**が占めている。



○建設場所（優先すべき事項）

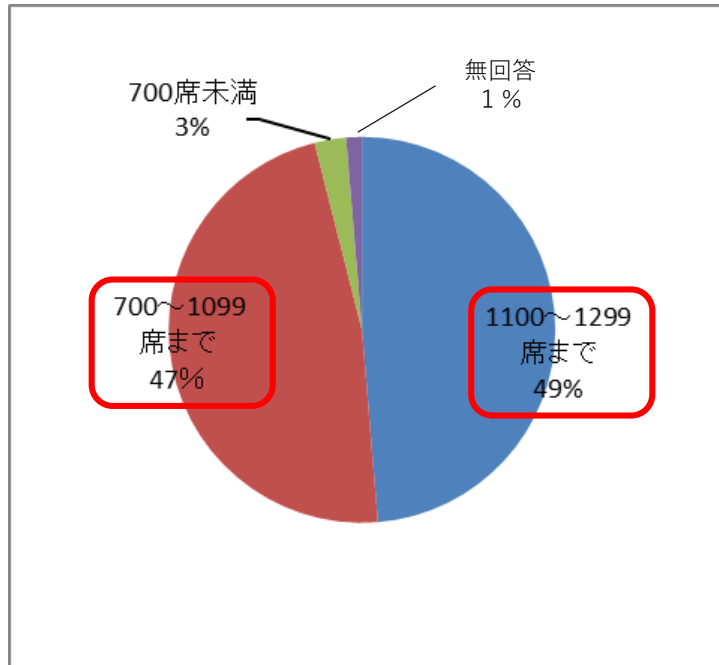
アクセスを重視する意見が**84%**を占めている。



(1) これまでの経過説明 (市民のニーズ等について)

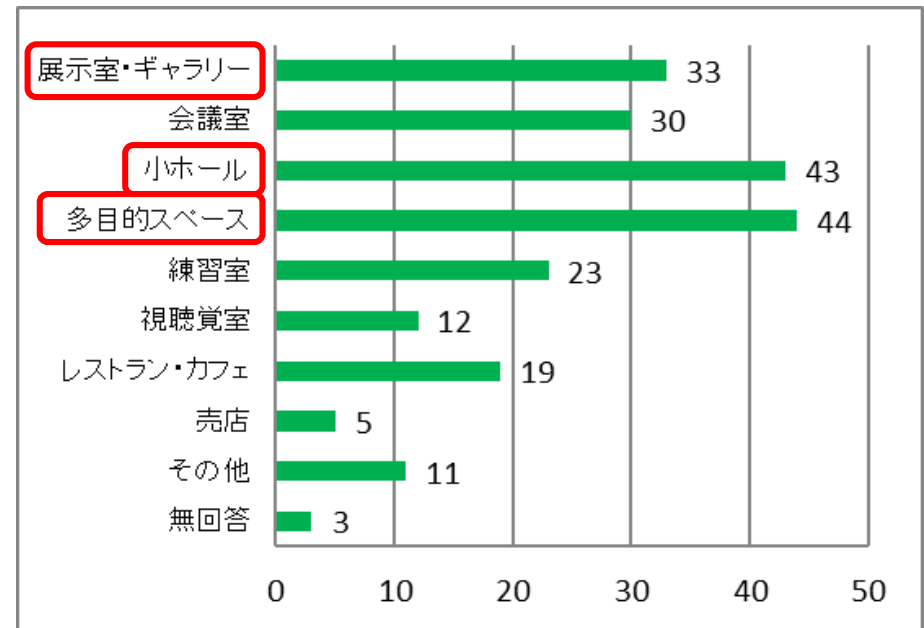
○大ホールの規模

現状と同規模またはそれ以上の意見がほとんどを占めている。



○必要だと思う施設の機能

活動の多様化に伴い多目的スペースの要望が多くなっている。



(1) これまでの経過説明（市民のニーズ等について）

○自由意見

【新市民文化会館の在り方】

- ・ 十分な駐車スペース（大型バス含む）の確保（意見多数）
- ・ ユニバーサルデザインを積極的に取り入れる。
- ・ バリアフリー対応
- ・ 交通アクセスに利便性のある場所への移転（意見多数）
- ・ 歴史・文化施設は肱南地区に集約して整備することが望ましい。
- ・ 子ども、高齢者、障害のある方など、皆が利用しやすい設計
- ・ 気軽に文化活動に参加、また発表ができ地域コミュニティが活性化するような施設
- ・ 利用者の目線にたった設計（動線など）

【新市民文化会館に望む機能】

- ・ 音響・ピアノ・舞台設備が整った100～300人程度収容できる小ホール。
- ・ 子育て世代も利用しやすい設備、環境。（大ホールに防音室があるとよい）
- ・ 展示室・ギャラリーの設置
- ・ 防音設備があり様々な活動ができる多目的スペースの整備。
- ・ お茶席ができる和室
- ・ カフェ・レストラン
- ・ 観光、歴史等の紹介・展示スペース
- ・ 周辺に公園を併設し、イベントの有無に関係なく気軽に立ち寄れる環境整備
- ・ ピロティ形式を取り入れる。

【その他要望】

- ・ 利用しやすい料金設定であること。
- ・ ホールを広くし、コンサートを多く開催してほしい。
- ・ 市内産木材を使用した落ち着いたデザインを望む。
- ・ 複合施設の可能性の検討
- ・ イベントの規模によっては、ぐるりんバスの臨時便を出すなど、交通アクセスの支援を望む。
- ・ 年間を通して市民が気軽に参加できるイベント、各種教室の開催。
- ・ 10代、20代の意見を取り入れてほしい

(2) これまでの経過説明

○視察先の概要について

【視察先選定理由】

- 観音寺市 視察当時、四国内で一番新しい施設であり、1,000席を超えるホールの参考事例として
 三豊市 大洲市と同規模の施設であるとともに、周辺に1,000席を超える施設がある中での運営方法等についての参考事例収集として

施設概要	観音寺市民会館 (ハイスタッフホール)	三豊市文化会館 (マリンウェーブ)
開館日	平成29年4月1日	平成12年8月1日
建設費	59億8,700万円	30億円
敷地面積	19,306㎡	10,219㎡
建物延面積	8,802㎡	6,136㎡
大ホール総席数	1,200席	770席
その他ホール総席数	小ホール 334席	イベントホール 200席
駐車場台数	379台 (市営駐車場168台)	180台
行政規模 (※視察時)	観音寺市	三豊市
人口 (平成30年4月1日当時)	60,842人	66,346人
世帯数 (平成30年4月1日当時)	24,940世帯	25,982世帯
一般会計予算 (平成29年度当初)	255億5,000万円	311億7,000万円

(2) これまでの経過説明（審議会視察研修を踏まえた各委員からの感想・意見）

視察参加者 15名中9名からご意見・ご感想をいただいております。

○施設（大ホール）の規模について

◆現在の778席程度（5/9）

- 稼働率、管理費等、また少子高齢化による人口減少を考慮すると、現状程度の規模が妥当ではないか。
- 他施設の大ホールの稼働状況をみても、1,000席を超えるホールが必要だろうか。
- 観音寺市民会館の7割程度の規模でいいのでは。
- ホールの規模で稼働率が変わるわけではない。現状で十分。

◆1,000席以上（4/9）

- 質の高い芸術、興行を考えると1,000席以上必要。
- 南予の中核として各地からの利用を見込むことで、経済効果も期待できる。

○施設（小ホール）の規模については、350席程度とのご意見が1件、小ホール、イベントホールの存在は欠かせないのご意見がありました。

(2) これまでの経過説明（審議会視察研修を踏まえた各委員からの感想・意見）

立地条件・場所について

○高速IC付近、市内の中心

○歴史・文化・観光にも接することができる肱南地区

○文化の中心であり、行政に近く、教育機関の一貫して存在するところ

○既存施設・駐車場が併用できるような場所に整備する

○駅に近いところ

○車両でのアクセスがいいところ

○土地取得費や造成費用が抑えられるところ

駐車場について

○車社会に対応した駐車場の確保

○大ホールを1,000席程度にするのであれば、500～600台は必要。（大ホール席数の半分程度）
また、料金は無料とするべきである。

○少ない稼働率の為（大ホールに対して）の駐車場は必要でなく、小ホールを賄えるくらい
の駐車場整備を行い、不足時には周辺の駐車場と併用で運営してはいけないか。

○公共交通との兼ね合いも考慮しながら考えるべき

○周辺施設との駐車場の併用、臨時駐車場の確保

(2) これまでの経過説明（審議会視察研修を踏まえた各委員からの感想・意見）

必要な機能について

- ホールの機能を重要視するべき
- 音響・照明設備の充実
- 子どもと一緒に楽しめる親子室は必要
- 市民が利用しやすい小ホール、サブホール、多目的室のような小規模の部屋は不可欠ではないか
- 会議室、コミュニティ室等を多く設置する必要があるのでは
- おむつ替台は男女両方のトイレに設置するべき
- 搬入口は高さ広さを配慮
- 大洲ええもんセレクション等を利用したお土産物、飲食店を併設

その他

- 市民イベント等の開催時に、賃借料があまり掛からないこと
- 市の文化活動・芸術活動が促進される施設
- 市民が自由に・いつでも・気軽に使用できる施設
- 小規模の施設であっても、充実度に見合った興行が見込めると思われる
- 必要敷地面積、土地取得費、造成費、建設費等、安価に整備できることが最良
- 興行を見込むのではなく、市民利用がベスト
- 稼働頻度が重要である
- 設備も大事であるが、指定管理者の能力が運営に大きく影響する
- ふるさと納税の活用
- 地元雇用の促進
- 名称については公募
- 観音寺市民会館のエアコンが客席の足元からでる作りは大変よかった